

愛媛県デジタル総合戦略 取組一覧（R3～R5）

行政の DX	
(1)聖域なき DX の推進	
戦術	主な取組みの概要 ※時期は年度を指す
1. 着実な DX 推進体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県政に係るデジタル化を戦略的に推進する司令塔として、デジタル総合戦略本部を設置【R3 以前～】 ■ 全庁的な DX 推進のために、外部専門人材の CDO 補佐官を設置【R3～】 ■ CDO 補佐官による庁内のデジタル化施策把握と相談対応、政策提言の実施【R3～】 ■ データ利活用プロジェクト（データラボプロジェクト）の伴走支援と展開の後押し【R4～】
2. サービスデザイン思考による行政サービス設計	<ul style="list-style-type: none"> ■ 200 件超の手続きのオンライン化、県有 17 施設の予約申し込みを実現【R4～】 ■ 「サービスデザイン思考」の理解と実践を DX 推進の前提とし、職員向けに DX 基礎研修、DX 専門研修及び DX リーダー育成研修を実施【R3～】 ■ 成果重視マネジメントの推進【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・プラットフォームの構築に向けた具体的な要件を整理し、調達に必要な仕様書を作成（R4～） ・成果重視のマネジメント理解を深めるため、専門家による職員向けの研修を実施（R4～） ・成果重視型政策立案を実現するためのプラットフォームを開発（R5～）
3. 県民本位の情報発信・共有と行政サービスの共創	<ul style="list-style-type: none"> ■ <再掲> 成果重視マネジメントの推進【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・プラットフォームの構築に向けた具体的な要件を整理し、調達に必要な仕様書を作成（R4～） ・成果重視のマネジメント理解を深めるため、専門家による職員向けの研修を実施（R4～） ・成果重視型政策立案を実現するためのプラットフォームを開発（R5～）

	<ul style="list-style-type: none"> ■ ターゲットを絞った情報発信による動物愛護センター等の周知活動【R4】 ■ 「とべもり」エリア内の情報を発信するスマートフォンアプリの導入【R3～】 ■ デジタルスタンプラリーの実施による、とべ動物園来園者数の増加への取組み【R3～】
4. 業務の可視化とBPRの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ■ 効果が期待される業務の選定とBPR導入モデルの庁内周知【R3～】 ■ 道路占用申請業務勉強会実施（地方局・市町合同）【R3】 ■ 業務における生成AIの活用検討に向けた試験導入の実施【R5】 ■ 庶務事務システムの導入と活用による業務効率化【R3～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 庶務事務システムを本庁知事部局へ導入し（R3～）、順次対象を拡大（R4～） ・ 庶務事務システムを活用し、服務、給与等の総務系事務を集約処理することにより各所属の業務負担を軽減（R3～）
5. ペーパーレス化の推進と押印・署名の段階的な見直し	<ul style="list-style-type: none"> ■ ペーパーレス化の取組みを推進し、令和4年度における用紙購入量を前年度比14.5%削減【R3～】 ■ <再掲> 若手職員タスクフォースによる本庁舎のスマートオフィス化の検討と効果検証【R3～R4】 ■ 電子決裁等の推進【R3～】 ■ 文書管理・電子決裁システムの再構築【R5】 ■ 監査資料をペーパーレス化し、委員監査や監査委員会議において端末上での資料閲覧による質疑を行うため、タブレット型コンピュータ及びペーパーレス会議システムを導入【R5～】
(2)手のひら県庁への挑戦	
6. 県民本位の行政手続き・窓口業務等の実現	<ul style="list-style-type: none"> ■ <再掲> 電子申請システムをR5.1から運用開始、200件超の手続きをオンライン化【R4～】 ■ <再掲> 施設利用予約システムをR5.1からリニューアルし、予約から支払までの手続きをオンライン化の上、17施設で運用【R4～】 ■ ノーコードフォーム作成ツール「LoGo フォーム」を用いた行政手続きのオンライン化実証【R3】

7. イベントや説明会等のオンライン化	<ul style="list-style-type: none"> ■ SNS 広告や ZOOM の活用による動物譲渡事業の効率化【R4】 ■ 愛護センター20 周年記念公演会等のオンライン会場設置【R4】
8. 委員会・審議会等のオンライン化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 機器等の整備による委員会資料の電子化【R4～】 ■ オンライン会議システムの試行及び、本会議や委員会でのタブレット利用の本格運用実施【R4～】 ■ 本会議及び委員会において、タブレット端末を活用したペーパーレス化の本格実施【R5～】 ■ 審査事件の証人尋問において、文字起こし効率化の取組みを実施【R3～】 ■ 機器等の整備による審査事件における委員のオンライン出席の実現【R4～】
9. プッシュ型行政サービスの実現	<ul style="list-style-type: none"> ■ SNS(LINE、Instagram)を活用し、企業の魅力情報や愛 work の支援情報を広く発信【R4～】 ■ LINE 付加システム「Liny」を活用し、属性や希望に応じた就職支援情報を発信【R4～】 ■ 奨学金支援制度の周知を図るため、SNS を活用した情報発信や SNS 広告、GDN 広告の配信を実施【R4～】
(3)働き方のニューノーマル	
10. 職員のデジタルリテラシーの向上	<ul style="list-style-type: none"> ■ DX 基礎研修、DX 専門研修、DX リーダー育成研修等の Web 型やハイブリッド型での実施【R3～】 ■ 職員向けデータ関連研修のアーカイブ動画の作成・公開【R4～】
11. 多様な働き方や先駆的な執務環境の構築	<ul style="list-style-type: none"> ■ モデル的に整備したスマートオフィス（本室）における効果検証を実施【R3】 ■ 本庁舎等における庁内 LAN の無線化【R3～】 ■ 本庁舎のスマートオフィス化について全庁的な環境整備検討会を開催【R5～】
12. 官民共創拠点の設置	<ul style="list-style-type: none"> ■ 官民共創拠点の整備及び活用による連携プロジェクト促進【R4～】 ・官民共創拠点（トライアングルベース）をモデル的に整備

	<p>(R4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官民共創拠点を活用した勉強会等の開催による官民連携プロジェクトの創出 (R5) ・新第二別館への官民共創拠点の整備検討を実施 (R5～)
13. 採用活動と採用試験のオンライン化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 採用関連手続きのオンライン化【R3 以前～】 <ul style="list-style-type: none"> ・受験申込みのオンライン化 ・エントリーシート等提出書類のオンライン提出 ・基礎能力検査 WEB テスト (一部) の実施 ■ 採用広報活動におけるデジタル広告の活用【R5～】 ■ オンライン業務説明会とタブレット端末利用のオンライン採用イベントの実施【R4～】 ■ Instagram アカウントを開設し、採用情報の発信力を強化【R4～】
14. データ・デジタル技術を活用した職員の健康増進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 健診結果等を基にした健康情報をスマートフォンへ提供【R3～】 ■ ストレスチェックによる集団分析結果の活用【R3～】
(4)えひめ情報・データハイウェイの構築	
15. マイナンバーカードの普及加速化	<ul style="list-style-type: none"> ■ マイナンバーカード取得促進と地域経済支援のための総合的施策【R4】 <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバー取得推進と地域経済支援の目的で、マイナンバーカード取得者が指定キャッシュレス決済を使用すると最大 4000 円分のポイントを付与する「愛媛県版マイナポイント事業」を実施 ・マイナンバーカードの取得促進のため、市町と連携し、県内各市町の大型商業施設や道の駅等に出張申請窓口を設置 ・SNS 等を利用した出張申請窓口設置に関する広報活動
16. データ利活用・オープンデータの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 統計データ利活用推進部会の設置及び EBPM の推進【R3～】 ■ <再掲> えひめデータラボの設置、活動、及び庁内データの利活用推進 (データラボプロジェクト) 【R4～】 ■ データラボを通じた事務局職員のデータリテラシー向上【R4～】

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 庁内データカタログの整備【R3～】 ■ オープンデータの拡大及び活用検討【R3～】 ■ データ関連のガイドライン策定とプロトタイプ環境の検討【R4】 ■ ジュニアアスリートのデータ管理と成長の可視化、適切な指導の実施と自己認識の促進【R4～R5】
17. 情報セキュリティ対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 強靱化システムの機器老朽化に対応するためのシステム再構築【R3】 ・ ネットワークの分離による不便さを解消し、Web 会議の利用環境を改善するなど、利便性の向上を図るとともに、これまでの高いレベルのセキュリティを維持
18. 情報システムにおける業務継続体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本庁版・地方局版 BCP の改訂を考慮し、愛媛県 ICT-BCP と災害時行動マニュアルの内容検証を実施【R3～】 ■ 庁内 LAN のネットワークを強化し、愛媛県セキュリティクラウドを安定的に運用【R3～】
(5)事業のデジタルシフト	
19. デジタル技術を最大限に活用した政策立案型行政の強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ <再掲> 成果重視マネジメントの推進【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ プラットフォームの構築に向けた具体的な要件を整理し、調達に必要な仕様書を作成（R4～） ・ 成果重視のマネジメント理解を深めるため、専門家による職員向けの研修を実施（R4～） ・ 成果重視型政策立案を実現するためのプラットフォームを開発（R5～） ■ <再掲> 統計データ利活用推進部会の設置及び EBPM の推進【R3～】
20. 税によらない財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本県産品の PR のため、ふるさと納税につながるランディングサイトを構築【R4～】
21. 県有資産のデジタルマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ■ AI 技術による画像の自動解析を活用した路面性状調査の実施【R5～】 ■ 本庁、各地方局建設部、各土木事務所が分割保有する河川、砂防、港湾、海岸、海域の許可情報を電子化し、庁内 LAN や

	<p>情報スーパーハイウェイを通じた一元共有化を実現【R3～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ GISと連動した許可情報の表示、閲覧、検索及び許可情報のデータ集計・出力を用いて、河川等の管理業務の効率化、迅速化、適正化、ペーパーレス化を実現【R3～】
(6)「チーム愛媛」のDX	
22. 愛媛県・市町DX協働宣言	<ul style="list-style-type: none"> ■ 愛媛県・市町DX協働宣言の実施と県・市町DX推進会議の設置【R3～】 ■ 協働事業「高度デジタル人材シェアリング事業」と市町業務標準化専門部会の設置【R4～】 ■ 「チーム愛媛のDX」の取組みの認知度向上：各種メディアでの取り上げ、総務省の参考事例集への掲載、マニフェスト大賞「優秀賞（成果賞部門）」受賞【R3～】
23. 愛媛県・市町DX推進会議の設置	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Teamsを用いたオンラインコミュニケーションによる県・市町DX担当職員と外部人材等の意見交換・協議【R4～】 ■ DX担当者や外部人材がオンラインだけでなくオフラインで交流できる機会を創出し、事例共有やワークショップを実施【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・DXサマーキャンプとDXウィンターキャンプを開催
24. システムの標準化・共同化・クラウド化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電子申請システム・施設利用予約システムの運用とサービス開始【R5～】 <ul style="list-style-type: none"> ・県が構築した電子申請システムについて、16市町と共同利用を実施 ・県が構築した施設利用予約システムについて、2町と共同利用を実施 ■ 地方公共団体情報システムの標準化に係る市町の取組みを支援【R4～】 ■ 業務プロセスの見える化と情報システムの整理・分析を実施【R4～】 ■ 国が推進する行政手続きのオンライン化について、県内市町における子育てや介護等の手続きの標準化・効率化実現による全県的な行政サービスの向上を推進【R4～】 ■ 地域事情や、電子機器に不慣れ等の理由で、市町の役所窓口での手続きや電子申請が困難な住民が、負担なくサービスを受け

	<p>られるよう、市町において共同利用可能な、マイナンバーカードによる個人認証を活用したナビゲーションシステムを県主導で構築【R5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 建設事業総合管理システムを核にしたデータの自動連携強化、標準化された業務分野のパッケージソフト活用【R3～】 ■ 入札参加資格審査申請や入札参加条件設定に係る業務の新たな機能追加を基本方針としたシステムの構築【R3～】
25. 県・市町 一体となっ たデータ利 活用の推 進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市町に対しての推進計画の雛形の提示や助言【R3～】 ■ 高度デジタル人材シェアリング事業において、データ活用促進・共有体制を整備【R4～】 ■ データ利活用の専門官による各市町のオープンデータ公表や、データ利活用を支援【R4～】 ■ 市町オープンデータサイトと連携し県オープンデータカタログサイトで市町のデータを情報提供【R5】 ■ 研修などによるデータ活用の機運醸成【R4～】
26. 高度デジ タル人材の シェアリング	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県・市町 DX 推進会議において、県及び 20 市町が応分の負担を行い、高度なデジタル人材 5 分野 5 人を共同で確保しシェアする体制を構築【R4～】 ■ 専門官により全市町の状況把握や市町ニーズに応じた助言・提案を実施【R4～】 ■ 個別又は広域連携プロジェクトの積極的な支援【R4～】
27. DXモデル 自治体の 創出	<ul style="list-style-type: none"> ■ トライアングルエヒメの展開により、県と市町が連携して、これまで前例がなく対処できていない課題を掘り起こし、デジタル実装とDXを図る【R4～】 ■ DX モデル自治体との連携・支援体制の構築と取組みの最適化を支援【R4～】 ■ 市町における先行事例について、県・市町 DX 推進会議での発表機会を設け、モデル事例として共有【R4～】 ■ 高度デジタル人材シェアリング事業における専門官の伴走のもと、DX モデル事例の創出を支援【R4～】 ■ デジタルデバйд解消モデルの創出を行い、成果共有と横展開のため、県内 20 市町と協働し、地域コミュニティを対象としたデジタ

	ル化支援をモデル的に実施【R4～R5】
暮らしの DX	
(1)「安全・安心」スマート防災の実現	
28. 防災・減災へのデジタル技術の積極的活用	<ul style="list-style-type: none"> ■ 原子力防災体制の充実・強化に向け、ドローン関連技術や IoT 技術を活用した愛媛県版「ドローンオペレーション」を確立【R3 以前～】 ■ 土砂崩れや道路、車、人などを瞬時に判定する AI 検出器を開発【R4～】 ■ 「土砂災害情報相互通報システム」を改善し、土砂災害リスクの地図上での明確化による避難勧告の効果を向上【R3～】 ■ 木造住宅の耐震化普及のため SNS と啓発動画を用いた若年層向け広告を実施し、HP 表示回数とクリック数の大幅増を実現【R3～】
29. アプリ・SNS 等を活用した安全・安心情報の把握と提供	<ul style="list-style-type: none"> ■ LINE を活用した分散避難支援等システムを構築し、市町が導入できる状態としたほか、防災イベント等でシステムの実証を行い、活用可能性を検討【R3～R4】 ■ 伊方発電所の環境保全等に関する知識の普及・啓発を図るため、原子力情報ホームページを全面リニューアル（キッズページ導入を含む）【R4～】
30. 災害に強い情報通信環境の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ■ 愛媛情報スーパーハイウェイの稼働率 100%を達成し、地域間の情報伝達を高速化【R3～】
31. デジタル技術の活用による警備対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 駐在所ネットワークの構築及び運用【R3～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯電話回線網を使用しての県警 LAN 接続 ・ 目的：オンラインシステムの利用可能化 ■ ヘリコプターテレビシステムの運用【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 映像伝送方式のデジタル化

(2)DXによる防犯・交通安全の推進	
32.データ・デジタル技術を駆使した防犯	<ul style="list-style-type: none"> ■ 組織犯罪情報等管理システム(旧：暴力団情報管理システム)の更新及び運用【R3～】 ■ 防犯アプリ「まもるナビ」の運用開始【R3～】
33.データ・デジタル技術を駆使した交通安全	<ul style="list-style-type: none"> ■ VR機の導入による自転車運転の危険場面のバーチャル体験や、交通安全教室でのVR機活用講習の実施【R4～】
34.サイバー犯罪等への対策強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全なネットワーク環境で体験学習することにより効果的に手口と対処方法を習得できるサイバー犯罪の体験型コンテンツを導入し、同コンテンツを活用した効果的な広報啓発を実施【R4～】
(3)デジタル教育先進県えひめへの挑戦	
35.共生社会の実現とインクルーシブ教育システムの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ SNSを活用したいじめ相談窓口の設置【R3以前～】 ■ 県内一斉ライブ授業「えひめいじめ STOP！デイ」を実施し、子どもたちによるいじめ防止に向けた学校づくりを社会総ぐるみで推進【R3～】 ■ 特別支援教育における教員のICT活用指導力向上を図る研修の実施【R3～】 ■ 障がいに応じた入出力支援装置の整備【R3】
36.子どもの学びのデジタルシフト	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「えひめ ICT 学習支援システム」の開発・改編による個別最適な学びを推進し、多様な形の問題を配信するなど、県独自の出題・採点方式を実現【R3～】 ■ 電子版読書通帳「みきゃん通帳」Web アプリ及びタイピング検定 Web アプリを開発・運用【R4～】 ■ 不登校児童生徒に対する、メタバース上の学びの場での支援【R5～】 ■ 令和2年度に開発した情報リテラシーアプリの活用により、児童生徒の情報活用能力を育成【R3以前～】 ■ 「えひめ ICT 学習支援システム」を活用した「児童生徒の心と体の健康と人とのつながり」に関するアンケートの実施【R5】 ■ STEAM 教育にデータサイエンス (DS) やプログラミングに関する

	<p>教育を加えた「えひめ版 STEAM 教育」を確立し、STEAM 教育実践校の取組みを県立学校に普及【R4～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ STEAM 教育実践校（3 校）が、年に 3 回、STEAM 公開授業を実施するとともに、「えひめスーパーハイスクールコンソーシアム」等で成果発表を実施 ■ デジタル化対応機器の活用等による職業教育の実践【R3】 ■ 農業科等、工業科、商業科、水産科、家庭科、福祉系高校等の全ての職業学科において、各専門分野の卓越した技術・技能を身に付けるため、地域や産業と連携した実践的な取組みを実施【R4～】 ■ 生徒のプログラミングスキル向上を図るため、サマースクールやコンテストを実施【R5～】
<p>37. 教員の教え方のデジタルシフト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教職員研修について、ICT 活用に係る研修や、オンライン研修の効果的な実施等を推進【R3 以前～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT リテラシー向上のため、ICT 活用に関する希望研修や出前講座（市町教育委員会や学校へ出向く）を実施 ・ 研修機会の拡大や子供と向き合う時間の確保のため、オンライン研修（オンデマンド型、オンライン・参集併用型等）の効果的な実施を推進 ・ 受講申込みや動画配信をオンラインで行う研修システムを整備 ■ 高校における情報教育の支援と教員研修の強化【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「情報 I」を開講する学校において、教員や生徒への ICT 活用授業の支援体制を強化（R4～） ・ 「情報 I」を開講している学校に ICT 教育支援員を配置（R4：29 校、R5：37 校） ・ 教科「情報」担当教員を対象とした指導力向上セミナーの実施（R5～）
<p>38. 校務・教育環境の ICT 化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県立学校の校務効率化とテレワーク利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立学校統合型校務支援システムの活用【R3 以前～】 ・ 県立学校教職員テレワークの利用促進【R3 以前～】 ・ 県立学校庶務事務システムの導入検討・構築【R3～】

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全県立学校の普通教室等 1,507 室に Wi-Fi（無線 LAN）環境及び電子黒板を整備【R3 以前～R4】
39. 新しい学びのスタイルの創造と質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ■ オンラインでの地産地消と食育の推進【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象に GIGA スクール端末を活用したデジタルとリアルでの食育活動や農業体験を実施 ■ ICT 教育推進委員会の設置【R3～】 ■ 高等学校 ICT 活用授業改善推進校 10 校による公開授業の実施（各校年 2 回以上）【R3～】 ■ 令和 3 年度 ICT 活用実践事例集の配布【R3】 ■ えひめの ICT 教育まとめサイトの構築【R4～】
(4) デジタルによる自分らしい生活の実現	
40. 地域で寄り添う DX 環境の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ■ <再掲> 高齢者等のデジタルデバイドを解消するため、県内 20 市町と協力して以下の事業を実施【R4～R5】 <ul style="list-style-type: none"> ・フォローアップ型のスマホ教室を 20 市町で開催 ・地域コミュニティを対象としたデジタル化支援を 20 団体で実施 ・県内 100 か所の拠点にタブレット端末を配備し、オンラインによる「愛顔のスマホ相談窓口」を設置
41. 障がいの有無等にかかわらず自分らしく生きられる社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> ■ 障がい者等の ICT 利用機会を拡大し、活用能力を向上させるために以下の取組みを実施【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・「愛媛県障がい者 ICT サポートセンター」の設置（社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団に運営を委託） ・ICT 機器の展示や利用体験、機器の貸出、講習会の開催、利用相談 ・障がい者やその支援者に対する相談支援 ・常勤相談員の配置（愛媛大学特定研究員 1 名）
42. 多文化共生社会の実現に向けたデジタル技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県のホームページにおける外部サイトの無料翻訳サービスを利用した多言語対応（英語、ハングル、繁体字、簡体字）での情報発信【R3 以前～】
43. 生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生涯学習講座の一部オンライン化等【R3～R5】

<p>等におけるデジタル技術の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生物種別 AI 判定アプリの活用推進及び愛媛版の機能追加【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・生物種別 AI 判定アプリを活用した、県内の個性的な生態系を有する地域等での自然観察会の実施 ・同アプリ内への本県の希少動植物の情報を追加登録
<p>44. 教育文化施設のデジタルシフト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県立図書館のデジタルシフト【R3 以前～】 <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な郷土資料のデジタル化を推進し、デジタルアーカイブとして Web 公開 ・各種手続きのオンライン化や図書館 Web サイトの機能強化等 ■ 総合科学博物館、歴史文化博物館、美術館の所蔵品に係るデジタル化【R3～R5】 <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵品をデジタル化し、資料情報を各施設の Web サイト等で公開 ■ 県民文化会館のデジタル化【R3】 <ul style="list-style-type: none"> ・リモート会議対応の通信回線を整備
<p>45. e スポーツの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ モデル施設における e スポーツ活動【R3 以前～R5】 <ul style="list-style-type: none"> ・モデル施設での e スポーツイベントや活動のサポートとフォロー（R3 以前～R5） ・障がい者施設のモデル施設認定と環境整備のための機器貸与（R3 以前～R5） ・大規模商業施設での大規模な e スポーツイベントと県事業の成果発表（R4） ■ 教育機関との連携【R3 以前～R4】 <ul style="list-style-type: none"> ・地元大学の学生によるモデル施設での e スポーツ活動の研究・成果検証（R4） ・専門学校や松山盲学校との連携で視覚障がい者向けの e スポーツゲームアプリ開発（R3 以前～R4） ■ 障がい者への対応とサポート【R3 以前～R5】 <ul style="list-style-type: none"> ・障がいの状況に合わせたコントローラーの開発（R3～R5） ・民間企業や大学との協力で重度身体障がい者用のオーダーメイドコントローラー開発（R4～R5）

	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者と健常者が参加する e スポーツ大会の推進（R3 以前～R5）
(5)ライフステージに応じたDXの推進	
46. 多様な働き方の推進とオンラインによる総合的支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 働き方改革支援のための総合的取組みと事業者支援の実施【R3 以前～】 <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革のワンストップ支援拠点「働ナビえひめ」を開設・運営し、テレワーク等の多様な働き方など事業者からの相談対応、取組みの助言を実施（R3 以前～） ・働き方改革に関するセミナーやモデル事例創出のための個別企業コンサルティングを実施（R3～R5） ■ 県内中小企業におけるテレワーク導入支援【R3～R4】 <ul style="list-style-type: none"> ・テレワークの導入を検討する県内中小企業等に対する専門家の派遣（R3） ・テレワーク用通信機器の購入経費等に対する補助（R3～R4）
47. データ利活用による健康増進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 成人の週 1 日以上スポーツ実施率を向上させるため、既存のスマホアプリを活用し、ウォーキングイベントやお絵描きコンテストを開催【R3】 ■ オンラインアプリを活用することにより 1 か月目標走行距離達成者・団体に抽選で商品等を提供【R4】 ■ 国民健康保険加入者を対象に、既存のスマホアプリを活用し、健康無関心層を含めた効果的な生活習慣の改善と自発的な健康づくりを促進【R3～】 ■ 県民約 110 万人分の健診・医療のビッグデータを一元的に活用し、地域の特性に応じた疾病予防、健康づくり事業等の展開による健康寿命の延伸、医療費・介護費の抑制促進【R3～】
48. 医療における情報伝達や共有の促進	<ul style="list-style-type: none"> ■ CT や心エコー等の 4K 映像を遠隔地の専門医に伝送し、診療支援を受けることにより迅速かつ的確な診断を可能とするなど、新たな遠隔医療支援システムを構築【R3 以前～】 ■ 特定疾患や精神障害の医療費公費負担事務の効率化、関連事業の円滑化、保健所の機能強化、情報の一元管理と共有をシステム運用により実現【R3～】

<p>49. 結婚・妊娠・子育てのワンストップ支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ デジタルツールを活用した結婚支援プロジェクトの実施【R3～】 <ul style="list-style-type: none"> ・リモート型結婚支援の取組促進を目的として、デジタルツールの活用を推進 ・グループメール機能やビデオ会議機能を活用し、オンライン上での異業種交流やお見合い事業を実施 ■ えひめ結婚支援センターの会員増に向けた取組みを展開【R3～】 <ul style="list-style-type: none"> ・主要ターゲットの設定（県内外の20代） ・効果的なオンライン広告の配信や、魅力的な動画の制作を通じた新規会員の獲得を促進 ・ランディングページを制作・改修し、前年度の効果が高かった媒体を中心に広告配信
<p>50. 高齢者福祉のDX</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 在宅介護研修センターにおいてVRと見守りロボットを活用した体験型研修を実施し、来場者数の増加と認知度向上を実現【R4～】
<p>51. 意思疎通支援の拡充と心のバリアフリーの促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ <再掲> 障がい者のICT利用機会の拡大と活用能力の向上を目的に総合的なICTサポート拠点を設置【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・最新ICT機器の展示や利用体験、機器の貸出、講習会、訪問支援、利用相談等 ・常勤相談員の配置（愛媛大学特定研究員1名）
<p>(6)デジタルでつなぐまちづくり</p>	
<p>52. 地域交通の利便性向上と最適化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ きずな博と連携した予土線沿線地域での日常利用型MaaSのモデル実証の実施【R4】 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道、乗合バス、タクシーなどをスマホでシームレスに利用できるシステムを展開 ■ 松野町にて、AIを活用したオンデマンドタクシーを導入する実証実験を実施【R5】 <ul style="list-style-type: none"> ・幹線と二次交通の連携強化を図り、松野町が実証データを地域公共交通計画に反映するほか、オンデマンドタクシーの実装に向けて検討予定
<p>53. データを駆使したまちづくりの推</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特定エリア（繁華街や大規模商業施設等）での人流データを取得し、感染防止対策の効果検証や対策検討を実施【R3～R4】 ■ 3D都市モデル、都市計画GIS、デジタルツイン等を利用して都

進	市構造の可視化とオープンデータ化に取り組むための職員研修を実施【R3～】
54. キャッシュレス決済の普及・啓発と利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ■ マイナンバー取得推進と地域経済支援の目的で、マイナンバーカード取得者に対する最大 4000 円分のポイントを付与する「愛媛県版マイナポイント事業」を実施【R4】
55. 条件不利地域における情報通信基盤の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 5G 基地局の整備促進、ローカル 5G 普及促進及び市町における光ファイバ未整備地域への対応を支援【R3 以前～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の補助金情報等の市町周知 ・ 四国総合通信局と連携した「デジタルインフラ整備に係る地域協議会」の開催（R4.6・12、R5.3） ・ 県デジタル推進会議における市町等への情報提供（R3.8、R4.6・12） ・ 地方への基地局整備、ローカル 5G 導入経費支援に関する国への要望の実施
56. オンラインによる交流・関係人口の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ■ オンライン移住フェアを開催【R3～】 ■ オンラインによる就農相談体制を確立【R3】
産業の DX	
(1)産業のDXを担う人材・企業づくり	
57. 官民共創による地域経済活性化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「空飛ぶクルマ」の導入に関する取組みを促進【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ シンポジウムの開催等による新しいエアモビリティへの理解促進と機運醸成 ・ 本県で想定される「空飛ぶクルマ」運航ルート及び離発着場の調査実施による事業者の参入意欲向上のための検討材料提供 ■ <再掲> トライアングルエヒメの展開により、最先端のデジタル技術やロボット等を現場に実装し、本県産業の稼ぐ力を強化するとともに、県と市町が連携して、これまで前例がなく対処できていない

	<p>課題を掘り起こし、デジタル実装とDXを図る「ソーシャルイノベーション」を生み出すなど、全国に先駆けて「デジタル実装の聖地」として認知され、最先端のデジタル技術を有する県外事業者の誘致につなげる【R4～】</p>
<p>58. 中小企業等のデジタルシフト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ DX 伴走支援アドバイザー派遣支援を実施し、IT コーディネータ資格を持つアドバイザーを県内 23 社に延べ 59 回派遣（R4～R5）するなど、中小企業の DX 推進を支援【R4～】 ■ 自社の組織・人材・企画戦略の DX を推進する人材の育成を目指すため、DX リーダー育成研修を実施【R3～R4】 ■ えひめ ICT トレンドセミナー及びえひめ ICT 交流会で CDO 補佐官による講演を実施【R3～R4】 ■ 県内での DX 先行事例を創出するため、3 社の DX 取組みに補助金を提供し、DX 認定の取得に向けた伴走支援を含め、企業の各取組段階に応じた支援を実施【R4～】 ■ Web 合同会社説明会やオンライン採用活動支援セミナーを実施【R3～】 ■ 採用動画作成支援セミナーやオンラインインターンシップ支援を実施【R3】 ■ オンラインインターンシップを実施【R5～】
<p>59. 未来を切り拓くデジタル人材の育成・確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ デジタル人材育成の推進と経営層の意識改革促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル人材育成推進会議を設置し、人材ニーズや課題を共有して各取組みに反映【R3～】 ・ 官民連携 IT 人材育成支援コンソーシアムの設置による県内企業の IT 人材ニーズの把握と情報共有【R4～】 ・ 大学生等を対象にデジタルリテラシー講座や実践的なプログラミングを学ぶ短期講座の開催【R4～】 ・ 意欲ある女性の正社員での活躍に向け、デジタルスキル習得を支援【R4～】 ・ 県内企業の DX 推進に向け、企業の意思決定を握る経営層の意識改革や中核人材のスキルアップ等を図るセミナー・研修を実施【R3～】 ・ 社内で DX に向けた取組みを実践できる人材の育成に向け、ア

	<p>ドバイザーによる育成プログラム構築支援や育成にかかる必要経費を補助【R5～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立産業技術専門校において Web デザイン系の職業訓練を実施【R3 以前～】 ・ 民間教育訓練機関を活用した職業訓練による IT 人材の育成【R3 以前～】 ・ プログラミングや起業知識に関する短期集中合宿講座研修の実施【R4～】 <p>■ 人材マッチングと地域連携の推進【R3～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業と求職者のミスマッチを防止するため、IT 人材スマートマッチング事業を実施（R3～） ・ 県内企業とネパールの高度 IT 人材とのマッチングを総合的に支援（R4～） ・ 県内企業と県外 IT 人材とのマッチング経費に関する補助（R4～） ・ 県内企業が都市部の第一線で活躍する優秀な人材を副業活用するために必要な経費を補助（R4～） ・ 県内 4 大学と覚書を締結し、企業のニーズに合ったデジタル人材育成に向け、新学部・専攻等の設置を後押し（R4～） <p>■ 県のデジタル関連施策等を総合的に発信するポータルサイト「IT PLACE えひめ」を構築し、IT 人材や県外 IT 企業の誘致を推進【R4～】</p>
60. ワークেশョンとサテライトオフィス誘致の促進	<p>■ 企業合宿型ワークেশョンの誘致【R3～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モニターツアー等受入企業: 18 社（R3～R4） ・ 企業合宿型ワークেশョン受入: 12 社（R5～） ・ リピート企業: 4 社（R5～） <p>■ 企業テレワーカーの誘致【R3～R4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内コワーキングスペースのネットワーク組織形成 ・ 企業向け暮らし方改革セミナーのオンライン開催 ・ 企業テレワーク勤務実証実験補助の実施 <p>■ デジタルマーケティングを活用した県の立地環境 PR【R3～R5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本県の立地環境を PR する Web セミナーを開催

	<ul style="list-style-type: none"> ・「オフィス誘致パートナー」登録事業者との連携で県外企業への情報発信 ・ Web 広告や HP アクセス解析を通じた企業情報の収集とアプローチ
61.テレワークによる雇用創出	<ul style="list-style-type: none"> ■ 愛媛でじたる女子プロジェクトの推進【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ R4.6 月: でじたる女子活躍推進コンソーシアムとの連携協定締結 ・ デジタル技術を習得した女性がテレワークを活用し、首都圏等の高単価業務に従事できるまでの育成に関する支援を実施 ■ <再掲> 県内中小企業におけるテレワーク導入支援【R3～R4】 <ul style="list-style-type: none"> ・ テレワークの導入を検討する県内中小企業等に対する専門家の派遣 (R3) ・ テレワーク用通信機器の購入経費等に対する補助 (R3～R4)
62. 5 G 等を活用した産業振興	<ul style="list-style-type: none"> ■ 産業技術研究所に、5G の特徴を体感できる体験型展示施設「久米窪田 5G ラボ」を設置し、5G 製品関係で県内企業と 3 件/年の共同研究を実施【R3～】
(2)スマート農林水産業の愛媛発モデルの展開	
63.スマート農林水産業の担い手育成	<ul style="list-style-type: none"> ■ スマート農林水産業における人材育成と DX 推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ えひめ農業未来カレッジにおいて農業 DX 等に関する講義・実習を実施【R5～】 ・ スマート林業人材の育成研修の実施【R5～】 ・ スマート水産業人材の育成研修の実施【R5～】
64.スマート農業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農業用水管理クラウド構築の推進【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業水利施設の維持管理及び水管理の省力化につながる農業用水・水利施設に関する情報を関係者で共有できるクラウド管理システムの構築を推進 ■ 米麦スマート農業技術開発・普及促進【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水田自動給水装置の効率的な活用方法の検討 ・ 衛星画像解析結果を基にした「ひめの凜」肥培管理技術の検討 ・ 米麦二毛作体系における収量及び生育量データの農機間連

	<p>携技術の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 急傾斜農業の超省力化に向けた小型農業ロボットシステムの開発【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産研究所に試験園地を造成し、実用試験機の試験走行を開始 ■ 生産現場と普及指導拠点等をつなぐリアルタイム農業普及指導ネットワークを構築【R3 以前～】
65. スマート畜産業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 酪農生産基盤・スマート農業の強化と普及【R3 以前～】 <ul style="list-style-type: none"> ・生乳生産量の向上を図るため、ICT やスマート機器を活用した繁殖・発情監視の管理を強化 ・愛媛県酪農スマート農業推進協議会と連携し、研修や補助事業を活用した導入を支援 ■ 技術開発と導入【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ドローンと AI 画像認識を組み合わせた放牧牛の発情監視システムの開発 ・搾乳の自動化技術、飼養管理技術の確立と導入 ■ 県開発ブランド 3 畜の販売促進【R3～R5】 <ul style="list-style-type: none"> ・Web・EC サイト、公式 Instagram を活用し、ブランドの魅力発信と販売促進 ■ 愛媛あかね和牛の効率的増殖【R3 以前～R4】 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT を活用した牛繁殖技術と繁殖牛の導入により、効率的増殖を推進 ■ 畜産経営の収益力向上と技術対策【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・AI や新技術の導入、施設等の改修を支援 ・飼料残量のクラウド管理による効率化
66. スマート林業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ スマート林業技術の導入と支援【R3～】 <ul style="list-style-type: none"> ・林業経営体の ICT 活用を推進 ・県下の林業事業者等に、GNSS 測量機器、解析用ソフトウェア、UAV 等の導入を支援 ■ 森林管理の効率化・省力化【R3～】 <ul style="list-style-type: none"> ・森林資源量のデジタルデータ化による管理 ・ドローンの総合的な活用の実施や関連機器・ソフトウェアの導入

	<p>支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低コスト再造林のためのエリートツリーや早生樹の植栽推進 <p>■ 森林林業のイメージ向上とPR【R3～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP 上での森林林業のPRによる県民の理解と参画を促進 ・えひめの森林・林業 HP を開設・改修し、情報発信を強化
67.スマート水産業の推進	<p>■ ICT を活用した魚病等のリアルタイム遠隔診断システムの構築と運用【R4～】</p>
68.スマート6次産業化への挑戦	<p>■ 6次産業化事業者の支援【R3以前～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業スキル向上のためのオンライン研修と模擬オンライン商談会の実施 ・一部希望者への外部 EC サイトへの掲載 ・オンライン参加可能な6次産業化人材育成研修の実施
69.農林水産研究所における試験研究のデジタルシフト	<p>■ 水稻育成品種の現地適応性調査の省力化と育種年限の短縮化を目指した計測手法デジタル化のためのシステム開発を実施【R5～】</p> <p>■ AI 画像解析を活用し、一般豚の体重測定技術を愛媛甘とろ豚へ適用するためのシステム開発を行い、解析に必要なデータを蓄積【R3～R5】</p>
(3)スマートものづくりによる技術革新	
70.スマートものづくりの担い手育成と企業支援	<p>■ <再掲> えひめ ICT トレンドセミナー及びえひめ ICT 交流会で CDO 補佐官による講演を実施【R3～R4】</p> <p>■ <再掲> DX リーダーの育成と研修【R3～R4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX リーダー育成研修に民間事業者枠を設け、自社の組織・人材・企画戦略の DX を推進する人材を育成
71.スマートファクトリーの推進	<p>■ 県内工場において、5G 環境を活用したスマート工場の実証を実施【R3～】</p>
72. i - C o n s t r u c t i o n の促	<p>■ 工事監督のリモート化のため、ウェアラブルカメラ等の通信機器を 17 台各地方局建設部、土木事務所及び営繕室に配備し、87 社に貸出し【R3～】</p> <p>■ BIM/CIM を活用し、土木工事等の設計を 3D モデルで作成す</p>

進	<p>るためのハイスペック PC を配備【R3～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 防災情報収集機能を強化し、災害情報などを迅速に土木部門の関係機関と共有するため、クラウドサーバを活用【R3～】
73. 産業技術研究所における試験研究のデジタルシフト	<ul style="list-style-type: none"> ■ <再掲> 産業技術研究所に、5G の特徴を体感できる体験型展示施設「久米窪田 5G ラボ」を設置し、5G 製品関係で県内企業と 3 件/年の共同研究を実施【R3～】
(4)DXによる営業活動の強化	
74. デジタルツールを活用した営業活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 米国・中国越境 EC プラットフォームとの連携【R3～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 米国向けに愛媛ページ設置、SNS プロモーション、購買データ分析、県内企業へのフィードバックで販売体制確立 ・ 柑橘ブランディング、現地シェフ・インフルエンサー連携 ・ コロナ禍の輸出影響対策として、中国の越境 EC 市場での新市場開拓のために楽天と連携し、デジタルプロモーション及びデータ分析を推進 ■ SNS 等による愛媛県産かんきつ PR 実施、台湾・香港・マレーシア・シンガポールでの情報発信【R3～】 ■ 県産材製品市場開拓協議会との連携によるカタログ作成、展示会活動、近県港物流ルート調査【R3～R5】 ■ 未開拓市場需要拡大のため、展示会、レストラン・スーパーでの複合型プロモーション、Web アンケート、SNS プロモーションの実施、アメリカ・カナダ商談会への参加【R3～】 ■ 「愛媛百貨店」を軸とした県内事業者のデジタル上の稼ぐ力の促進【R3 以前～】
75. ものづくりデータベースとバーチャル展示会の促進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県産材軸組住宅の普及・PR のため、オンライン住宅展示場やオンラインセミナー等を実施【R3～R5】 ■ 県産品ポータルサイト「愛媛百貨選」とすぐ味・すぐモノDBの連携によるデジタル上の発信力強化【R3 以前～】
76. 県内企業	<ul style="list-style-type: none"> ■ デジタル技術の専門家による現場診断の実施による効果的な改

<p>のデジタル技術のマッチング支援</p>	<p>善ポイントの明確化と、その結果を基にした県内のものづくり企業とIT企業のマッチングによる製造業の生産性向上とIT企業の実需創出を推進【R3～R5】</p>
<p>77. V R 等活用による新たな観光コンテンツの創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然公園の魅力を広く発信する取組みを強化【R3 以前～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 瀬戸内海国立公園、足摺宇和海国立公園、石鎚国立公園、四国カルスト県立自然公園及び佐田岬半島宇和海県立自然公園の風景映像、VR 動画の制作 ・ 移動式の VR 情報発信ボックスの導入による県内外での自然公園の疑似体験を実現 ・ 松山空港や東京、大阪などの効果的な場所への設置による本県の自然公園の魅力発信 ■ 来島海峡大橋周辺エリアの魅力を PR 動画で発信し、観光誘客を促進【R3 以前～】 ■ 松山空港からのバーチャル旅行体験会を開催【R3 以前～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中国、韓国、台湾向けのバーチャル旅行体験会を実施
<p>(5)一歩先行くデジタルプロモーションの実践</p>	
<p>78. 愛媛県版 D M P を活用したデジタルマーケティングの実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康イメージを活用したかんきつ PR【R3～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康面を強調したデジタルとリアル両面でのかんきつ PR を継続 ・ Web 広告を最適化して EC サイトへの誘導を強化し、「愛媛かんきつ部」やインフルエンサーを通じて SNS での魅力発信を実施 ■ 南予地域への移住促進【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京・大阪圏在住の子育て世帯や南予出身の若者をメインターゲットに南予 5 市町と連携し、子育て移住の魅力を発信するデジタルプロモーションを展開 ■ 移住希望者のターゲティングと施策の最適化【R3 以前～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 移住希望者を「移住検討層」と「移住潜在層」に分類し、Web 広告や SNS を活用して、それぞれの心理に合わせた施策への誘導を実施 ・ 広告の獲得単価向上と移住相談件数の増加を実現
<p>79. データを活用した観光振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光デジタルマーケティングプラットフォームの活用【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行者の動態データや Web サイト閲覧履歴データ等を集約したプラットフォームを構築

	<ul style="list-style-type: none"> ・テストマーケティングにより旅行者の属性や傾向を分析し、施策展開に活用 ■ コロナ禍でのプロモーション【R3 以前～】 <ul style="list-style-type: none"> ・旅行者の意識変化に対応した本県のプロモーションとオンライン旅行会社の活用 ・動画・特設 HP の作成、デジタル広告による誘導 ・オンライン旅行会社との連携で、高付加価値宿泊プランと本県観光特集の実施 ■ JNTO とのデジタルプロモーション【R5～】 <ul style="list-style-type: none"> ・欧米豪市場向けの認知度向上のためにデジタルプロモーションを実施 ・訪日旅行者の蓄積データを利用した愛媛紹介記事の作成と広告配信 ■ 「とべもり」エリア情報アプリの導入と機能拡張【R3～】 <ul style="list-style-type: none"> ・とべ動物園、総合運動公園、えひめこどもの城の情報発信用スマートフォンアプリの導入 <ul style="list-style-type: none"> 基本機能：お知らせ、イベント情報、園内マップ、ジップライン予約、多言語表記（英語） 機能拡張：デジタルスタンプラリー、web 広告による広報活動
80. 自転車新文化のデジタル発信	<ul style="list-style-type: none"> ■ E-BIKE の行動データ活用【R3】 <ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクル事業者と連携し、E-BIKE に位置情報を取得できる機器を設置 ・利用者の行動パターンの収集・分析を実施し、エビデンスに基づく情報発信や旅行商品の検討に活用 ・県全体の E-BIKE 活用のレベル向上と普及を促進 ■ 「しまひめライド」の PR 等【R4～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ルート周辺の温泉、宿泊施設、体験型コンテンツ等にチェックポイント(PC)を設定 ・GSE 内のコンテンツ事業者の募集、利用者登録、ポイント付与・蓄積、利用状況の執行管理を行うアプリの活用 ・参画事業者向けの PR 資材の制作

(6)ポスト DX への共創	
81. 共感に基づくソーシャルグッドな取り組みの促進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 養成したサイクリングガイドによる民間ガイド組織を設立・運営し、ガイド手配の申込受付機能を備えた専用 HP の構築・開設等の基盤整備を実施【R3～】 ■ 官民共創デジタルプラットフォーム（エールラボえひめ）による地域課題解決等につながるプロジェクト創出の推進【R4～】